

学校で活用できる

大人が支える! インターネット セーフティ ガイドブック



秋田県教育委員会

はじめに

スマートフォン等の普及により、子どもたちを取り巻くインターネット環境は大きく変わり、インターネットは、今や、社会に対して広く発信できるメディアとして活用されています。一方で、利用の低年齢化や長時間化の問題、さらには「ネットいじめ」や犯罪等、様々なトラブルに巻き込まれる危険性が問題視されています。

秋田県教育委員会では、このことを家庭教育の課題の一つととらえ、平成25年度から、社会全体で子どもたちをインターネットによる有害情報やトラブル等から守り、インターネットを健全に利用できるよう、複数の取組方策により、安全で安心な利用環境を整える「インターネットセーフティ」に、民間等と協働し推進しています。

その取組の一つに、「うまホと学ぼう! ネット利用」の連載があります(平成27年6月～12月・毎週水曜日・全30回・「秋田魁新報」の「くらし・まなび」欄)。これは、保護者が子どもと一緒に、安心・安全なインターネット利用について、楽しく分かりやすく学べるよう、毎回、テーマに沿った質問や疑問について、インターネットセーフティPRキャラクター「うまホ」が聞き手となり、生涯学習課が答えるという内容のものであります。

本ガイドブックは、この連載記事に解説を加え、「インターネットセーフティ」を推進するための基礎資料として作成しました。子どもたち一人一人が、リスクを回避しながらインターネットを適切に利用できるよう、また、より豊かな生活と健全な成長につながられるよう、ぜひご活用ください。

目次

- 「うまホと学ぼう! ネット利用」・・・記事と解説(30テーマ) P 1
- [学校での取組1] インターネットセーフティガイドラインの作成について P32
- [学校での取組2] 本ガイドブックを活用した指導案 P35
- 資料編 P39